

<分院肝臓内科>

一般（教育）目標

消化器内科一般の基本的診療の基礎を身につけるとともに、肝臓疾患の病態と治療について学ぶ。B 型、C 型ウイルス肝炎を中心とした急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変症、肝細胞癌の臨床的なマネジメントが行えることを、目標とする

（具体的）行動目標

(1) 病態の把握

肝疾患患者の現病歴、既往歴、家族歴、生活歴の聴取から病態の把握を適切に行える

(2) 診察・検査

肝疾患の病態を評価するための診察（理学的所見）を自主的に行う

行われた検査（採血データ、腹部超音波検査、腹部 CT 検査、腹部 MRI 検査、腹部血管造影検査、上部消化管内視鏡検査など）の評価することができる

(3) 治療

患者の病態、病気に対する治療を理解し行うことができる

特に

- ・ウイルス性肝炎に対する診断と抗ウイルス療法
- ・慢性肝炎、肝硬変症に対する治療（抗ウイルス療法以外の治療）
- ・非代償性肝硬変症、肝不全患者の全身管理
- ・肝癌の治療と治療後の管理
- ・治験の意義を理解し導入について見学する（について学ぶ）

学習方略（1）

- (1) 上級医の指導（man to man method）のもとで入院患者の診察を行う。受け持ち患者数は 10 人前後とする
- (2) 週 2 回の部長回診に参加し症例提示を行う
- (3) 上級医の指導により肝疾患の検査や治療を自主的に計画し行う

学習方略（2）勉強会・カンファレンス・学会など

- (1) 上級医の指導により開催される講義・勉強会に出席する（週 1 回）
- (2) 抄読会に出席し最新の肝臓病の情報を把握する（週 1 回）また自ら英語論文を読み、その要約のプレゼンテーションを行う（2 ヶ月間に 1 回）
- (3) 学会に参加し医学的な発表や討論について学ぶ。また学会における当院の状況を把握する
- (4) 医学における統計学的解析を学ぶ

週間予定（例）※随時、病棟業務、他科コンサルテーションなど

	月	火	水	木	金
朝	抄読会				
午前	回診	腹腔鏡 内視鏡	内視鏡	回診	内視鏡
午後 1	CT	血管造影 ラジオ波 CT	CT	血管造影 CT	腹腔鏡 血管造影 ラジオ波
午後 2	超音波	超音波	超音波	超音波	
午後 3				講義	

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること